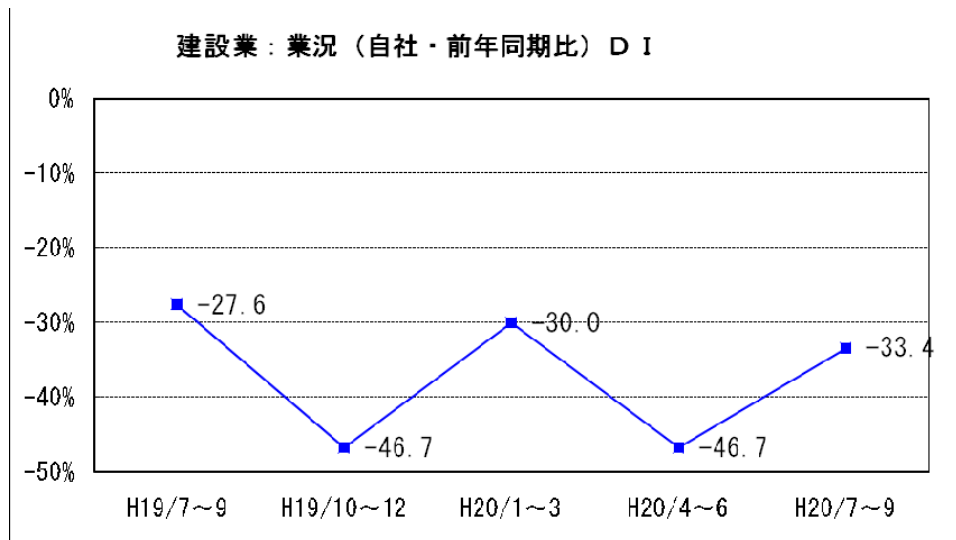


3. 建設業

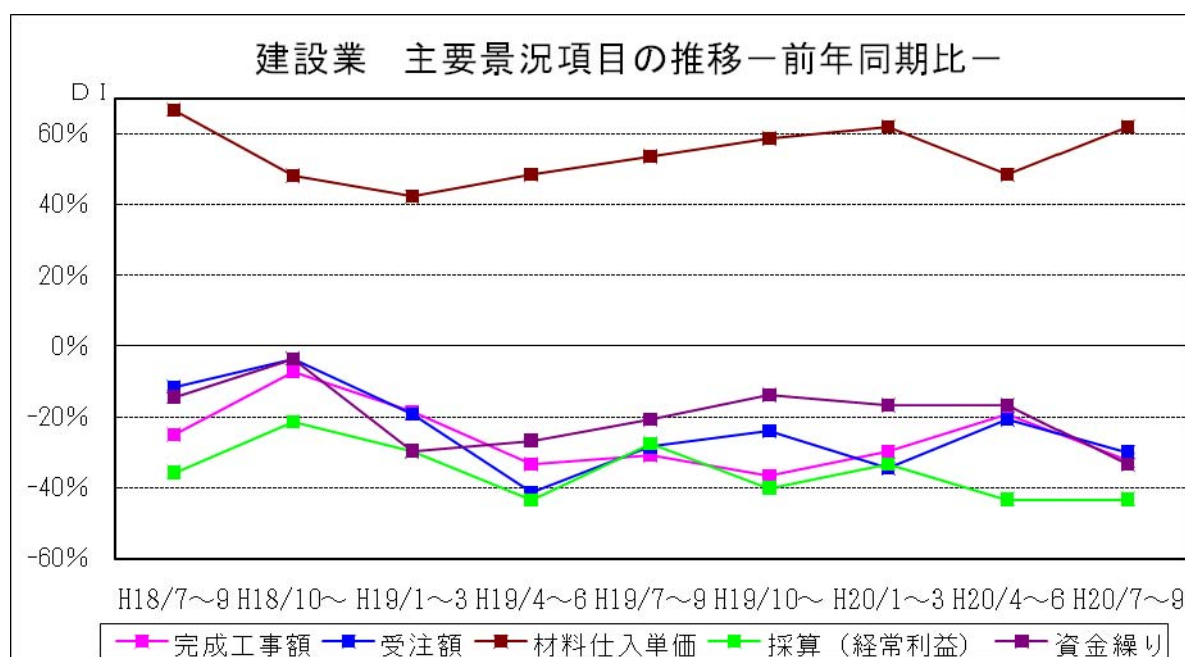
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス33.4。前期のマイナス46.7から13.3ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス32.2とやや回復の見込み。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

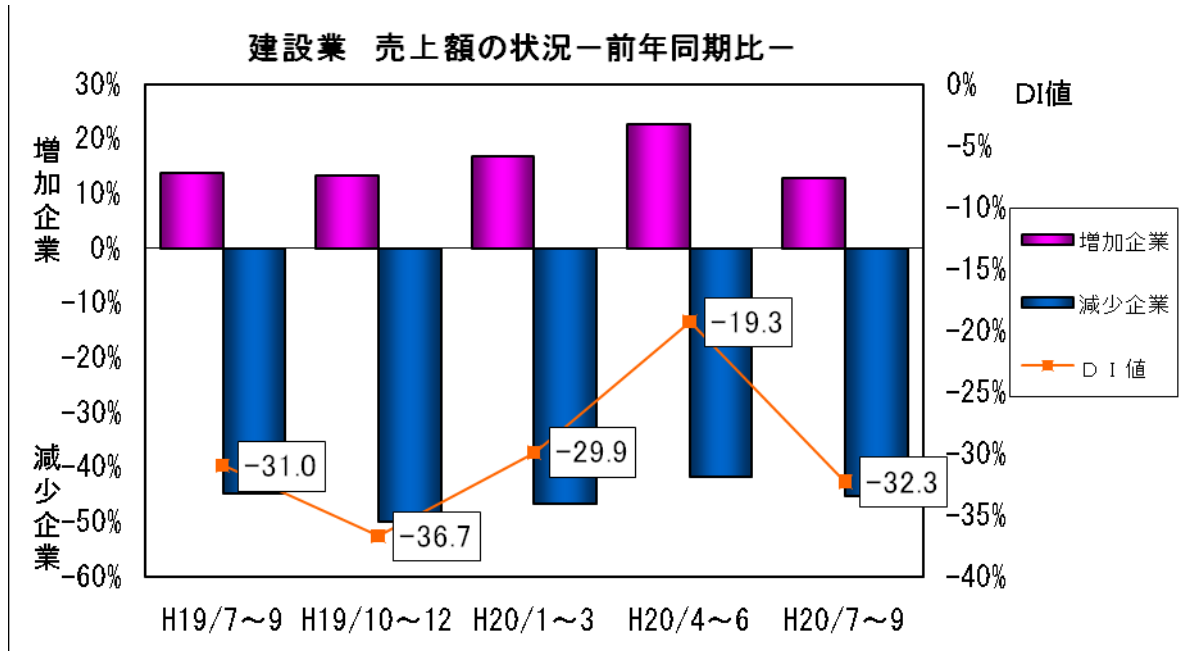
	前々期 (20年1月~3月)	前期(A) (20年4月~6月)	今期(B) (20年7月~9月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期見通し
完成工事額	▲29.9	▲19.3	▲32.3	▲13.0	▲38.7
受注額	▲34.6	▲20.7	▲30.0	▲9.3	▲33.3
材料仕入単価	62.1	48.4	62.1	13.7	46.7
採算（経常利益）	▲33.3	▲43.3	▲43.4	▲0.1	▲41.9
資金繰り	▲16.7	▲16.6	▲33.3	▲16.7	▲29.1



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

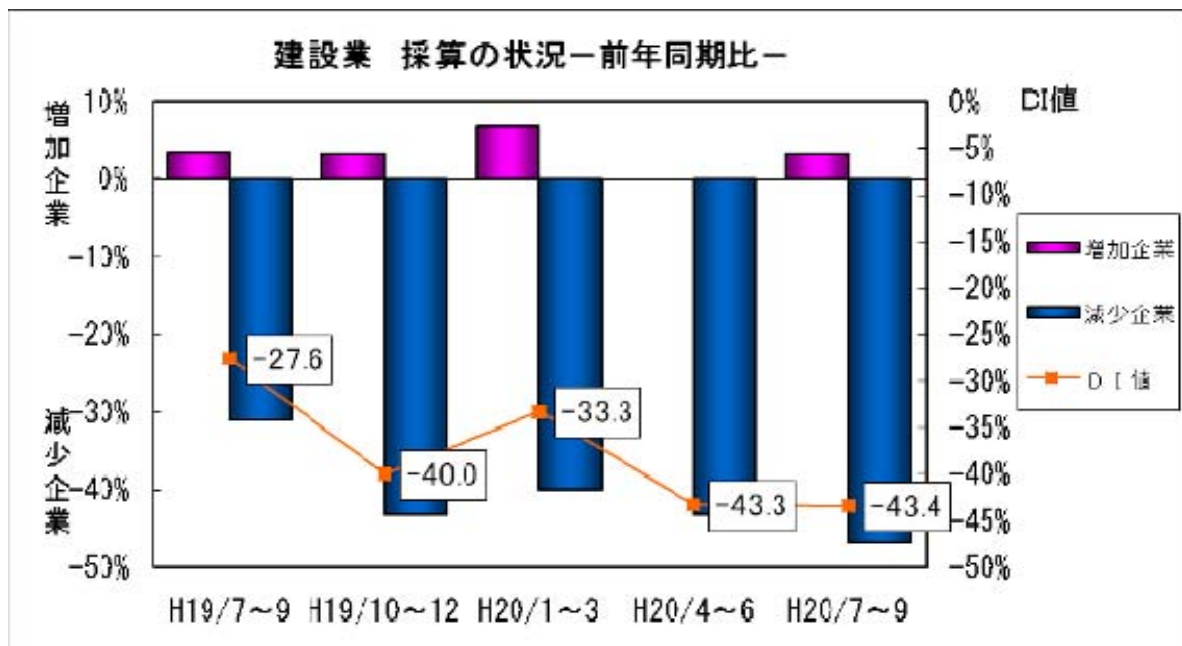
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額DI値は、マイナス 32.3。前期のマイナス 19.3 から 13.0 ポイントと大幅な下降、悪化。来期はマイナス 38.7 とさらに悪化する見込み。



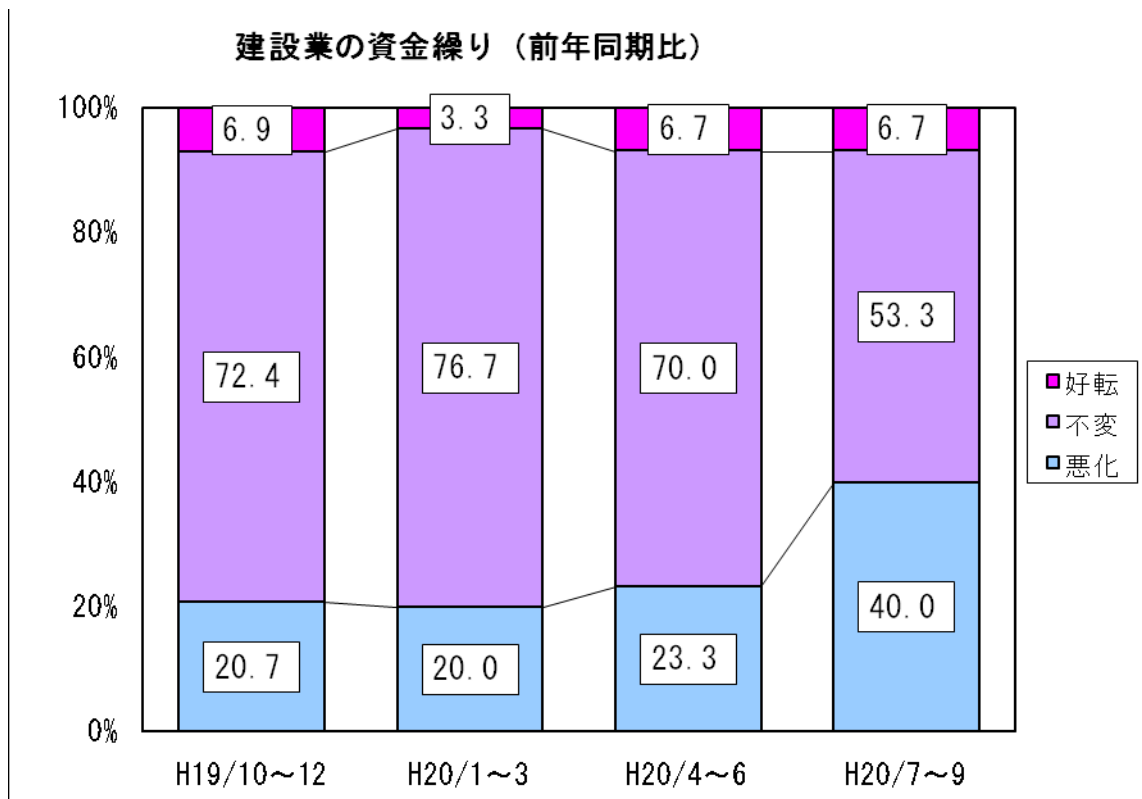
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス 43.4。前期のマイナス 43.3 から 0.1 ポイント下降、やや悪化。来期見通しはマイナス 41.9 とやや回復する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 33.3。前期のマイナス 16.6 から 16.7 ポイント下降、大幅なほぼ悪化。来期見通しはマイナス 29.1 と小幅な回復の見込み。

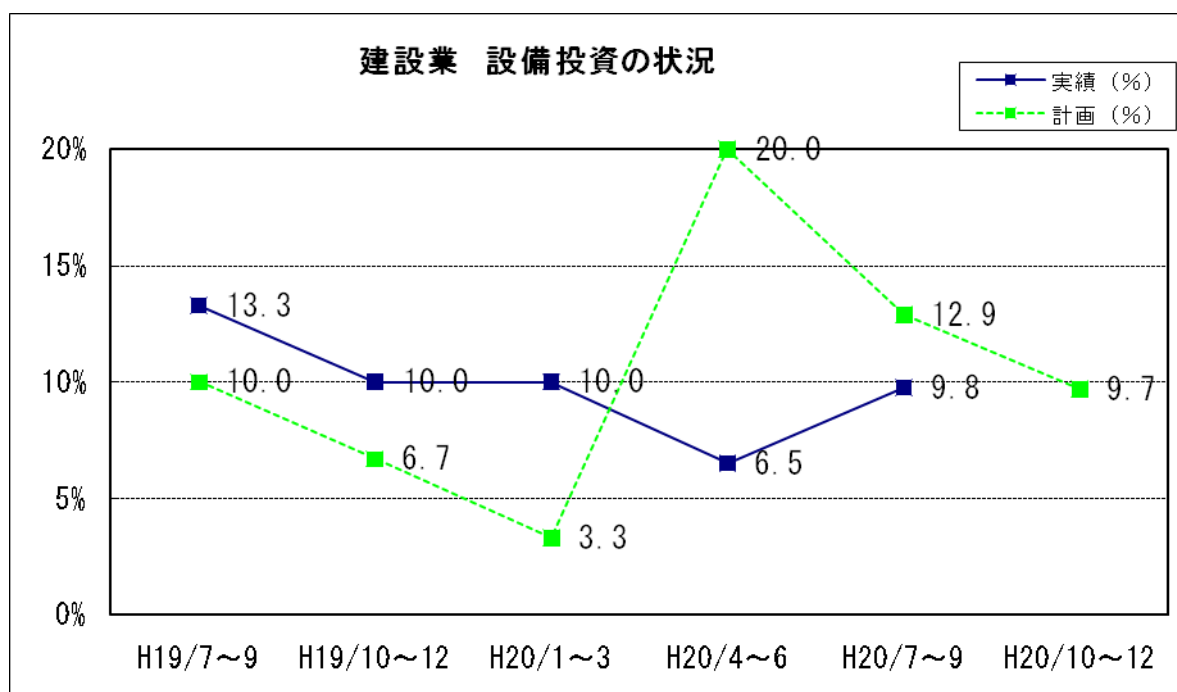


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施(実数)	2	0	0	1	1	0	2	0	0	29
(%)	6.5	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	93.5
今期実施(実数)	3	1	1	1	1	1	0	0	2	28
(%)	9.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0	0.0	66.7	90.3
来期計画(実数)	3	1	1	2	1	1	0	0	1	28
(%)	9.7	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	0	0.0	33.3	90.3

今期設備投資を実施した企業は3社(9.7%)。前期(平成20年4~6期)の実施企業2社(6.5%)から1社増加。来期も3社(9.7%)が、土地、建物、建設機械、車両・運搬具、付帯設備、その他への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- 「材料価格の上昇」 (前期 50%→今期 53.3%)
- 「民間需要の停滞」 (前期 40%→今期 50.0%)
- 「取引条件の悪化」 (前期 43%→今期 43.3%)
- 「官公需要の停滞」 (前期 37%→今期 43.3%)

となっている。

